

3 今月の青果物

びわ

主要産地のびわの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2023年度4月入荷量	2023年度4月シェア率
千葉	2 t	2.4 %
長崎	68 t	92.6 %
愛媛	0 t	0.0 %
香川	0 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場では、5月下旬のピークに向け、びわの入荷が2月中旬からスタートしています。

例年2月下旬から3月上旬に長崎県のハウス物の入荷が始まり、4月上旬から千葉県のハウス物の入荷が始まります。その後、長崎県の露地物が5月の連休前後から、千葉県の露地物が5月下旬頃から始まります。

2023(令和5)年の年間入荷量シェアは、長崎県が74.1%、次いで千葉県が12.3%、愛媛県が6.6%、香川県が3.3%と長崎県が大部分のシェアを占めています。

現在は、長崎県と鹿児島県、沖縄県から入荷があり、主産県である長崎県は、暖冬で生育は早いものの、着色不良等で前年に比べ1週間程度遅い出荷となりました。ハウス物のピークは4月上中旬で、Lサイズ中心を見込む。露地物は5月上旬に入荷が始まる予定です。鹿児島県は、生育順調、Lサイズ中心を見込む。千葉県は、ハウス物の出荷は前年並みで4月上中旬の見込みです。露地物の開花期はどの品種も前年より早く、果実の生育も早く進んでいます。

4月の入荷量は前年よりやや多い見込みで、シーズン通した全体の入荷量は、前年の長崎県が寒害を受け少なかったこともあり、かなり上回る見込み。

※右のグラフは長崎県だけ入荷量・単価の目盛りが異なります。

※青果物情報センターより数値をとっていますが、長崎県の6月下旬の単価の原因は不明です。

4月入荷予測	75t(前年比102.1%、平年比106.4%)		
4月価格予測	2,350円(前年比101.5%、平年比107.5%)		
4月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 弱い ↘↘

